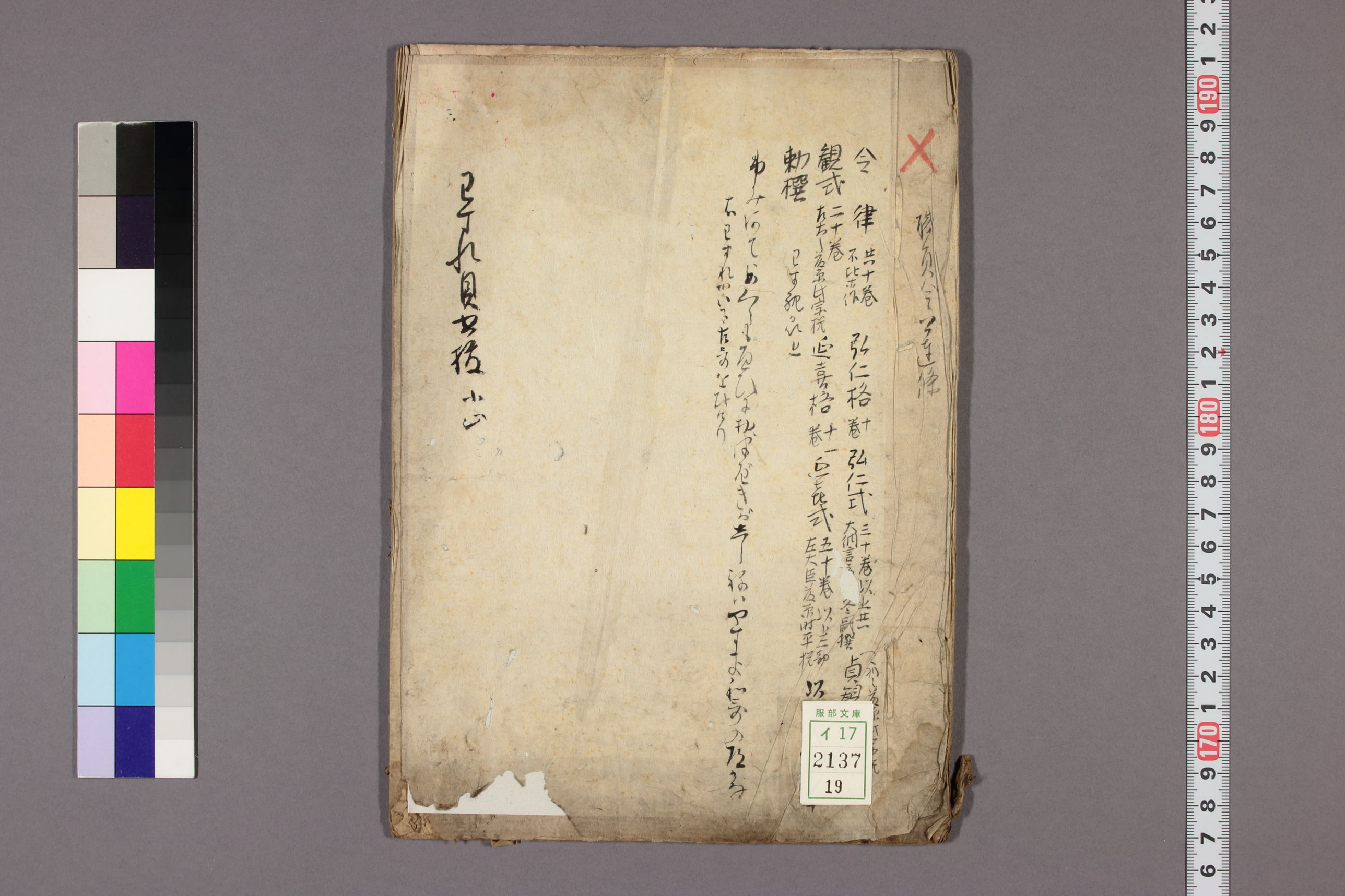


服部文庫
イ 17
2137
19

417
2137
19

潜岐国多度郡 橋江 春日部長見
西潜 森長見 陶猪

四字考 公三七

○宋史ニ雍熙元年日本国僧奝然献玉帙羽呉十條事并本国職員令
二十卷太宗召見奝然有旨賜紫衣
○本朝文粋ニ三善清行の由のしるし東平甫情ヲ降シ蝦夷廣
新羅南蛮呉等三韓入朝百濟内属ニ
○注記ヨリ国史(秘)ヨリ外国ヘ書籍切ニ禁ジ来ル法ヲ
とゝ云ふ
○法曹至要抄ニ日本法ハ上古兼明撰ス弘仁格ノ序ニ律以懲惰為
宗令以勧誡為本格則量時立制式則補闕拾遺四者相須足以垂
範ニ亦貞観格ノ序ニも律ハ断罪須引律令格式正文令云犯罪
未断決逢格改者見ヘ方ハ依花園集葉ニも令ハ吾朝法度也律吾
國刑書也格臨時処分ヲ以ト云ヘリ
○古今人名考ニ伴ヲ橋氏姓氏大方其姓氏ヲ冠ラスヲ掘
原ニ平姓ナルヲ源ヲ平ノ故ナリ平次平三郎ノ如キ皆名ノミ多

417 2503

姓氏とかつらをあらわす

○古実の実の字清て讀とあるは誤なり掃部頭光圀の史記神武紀魯世の注固一作故事之異なり

雜にあり故実の字の史記神武紀に卷を故実と如

○故実秘要抄に云今時歴この人の死を他界とりさしなのハ語

たるなり万葉の歌に他界と云るは其俗東国に始りしなり

東鑑に人まゝに猫毛三寸生成事あり故国他界に記あり

○戸令弁妻状に指と万記昌に食指に書とはきて月のりに近

するなり

○貴人と云ハ三位以上と見えたり例律の六議の第五議貴謂三位以

上者と有り亦令第解に依律称貴者皆総三位以上其五位以上

即為通貴とあり

○国書刊行新撰字鏡と云に古文字の採て古言多

徳とまつき書りと蝶ハ言のまてまて川ちれるかりしるかなり波

比良古と例をしるしてあり

○續大平記狸首篇に応永十五年日之行義満その小山真十八

行幸れ付ける九献乃祝あるこきよりいるるのゆはなりとい

献例猟ハ為ハ為きとて見を七こんを法らる大原記を秀を

取乃示ものと幸の付も乃献ハなすれ近ることを七献となれしと

云ハ酒を三寸と云る温故要略に江次第抄立一圓雜抄集に

飲酒則邪風去皮膚三寸と云

○水を主水と云ものハ和名抄に掃部かとんハ古語拾遺に

なの主水をもつくみ云又日本紀通證に戸ハかハ和の略なり

○祝面を物くとあるすとの言なり原氏雑抄に姫尻

祝をやをしをしをし

○雛祭のる事中切事の次第中なる事要言なるもいつまで
こんなまこれ今日まで迄い度事直方の雛遊記見合紀とて二冊
なりもと仕様すして女子なれば雛の事なり
○聖学自在なる文庫と云古なるもの書と書いは陸奥守
の古和とたてる文庫と云のーまて昭る二冠の清出るなりよ
なるーなのるるとはなりしとんの事徒然草抄い文庫と云
○かのくのふ林和紀の源ずーす出生れ家なりと云説
和紀講畢和歌集と云るる出まるまりと因不貞吉先生ドれ
しすまい予未見之亦和学辞やれい人見の源市るるぬ
さ和歌のドれて其後とあるりたるまるするるは
井伏長秀の源ずれしの上いはいはれ一の歌い桜町中納言定範
つの家とすれ仙松るるくい主と主をい咲ともれ家い賜ずなすす
兼明親王ドれ家と後拾遺集を出かるる時はなて余れ井ーわ
めし歌い太田道灌の和世なしずず討死のなる道灌の家と墓

京集るるるるりと工紙しの事しあるん
○学ふい乞食の下ーるるこまーと耳底ドれ
○皮職京要い獄京物ドれ年方するるいるさ書まて乞号のこ
物益あるるる事なり
○墓京集ず細川勝之紀臣より寵愛不成功と云ふるるる
ゆひーうい古田松資
いとかすいぬまきーりドれ拾人のあとすりたるれたもしさん
○度會延佳神主云延暦中奏覧の内宮仮式帳ず不詳の仏門と
なるいたのるるれるるなり古方の程い西程男程と云上の橋本い堂
木と云第二の橋本と云るるる程橋本ず法るるるるーけは
さしあるる品本おりと井伏長秀ふるるるるるるるるるるるる
○寺院ず田地ずドれ家ドれするるいお禁の。し田令るるるるるる
反人石ドれ無不得将田地屋敷地拾施及賣易ず等と亦令義解
ず曾拾施先祖市施也賣買ず賣又貸易也この内部宮石渡和

[illegible]

○東鑑字府秘伝書ハ仏法大師の法ハ良土光利其勧能書
必用好筆ニ

○亦相伯の筆一女の墨あり[illegible]

○後ハ[illegible]ハ[illegible]春時[illegible]
ハ人[illegible]相国ハ[illegible]
比[illegible]

罪人なり[illegible]

○押領使[illegible]

問あり[illegible]

以後[illegible]

この[illegible]

○爪をとるハ口ばかりむしる[illegible]
[illegible]
生り[illegible]
爪をとり[illegible]
[illegible]
○亦臣子の[illegible]
改[illegible]
○東[illegible]
[illegible]
法[illegible]
[illegible]
○中[illegible]
地[illegible]
[illegible]

とあるは稲穂を量目にかけたるなり亦封戸のことなりとあり
貫を称することは漢人宋時代より始まり一小銭を一文匁
模八匁を領知二十八貫とあり後考を待つて
この初めは一百四十三万五千石とあり亦慧性は領
知十八万石の内四万石のうち十二万石のうちなるべき
亦法隆寺初付何十貫と云ふ所は一百四十三万石
の内なるべし百姓の内と云ふ所は一把程なるべし
目録にはほぼ大抵十貫に百石宛あるべしこれは一段
と上中下とあるべし一段を上中下と分ちたるなり播磨一国
を法隆寺に引渡すべき数度書付を以て法隆寺をいひ
を書つるなり本紙の初三百年を以て一反とし三年
年をもつて一町とし水帳に記すべきなり
いづれも大抵一反と一石なり或は一石三斗とす後考

年の二ヶ大略の年なり所謂十貫は一反なり乗五斗得五
十石これを以て知るべし一石は四十貫なり
十石なるべきこと疑なし亦法隆寺の石高十貫の石
て徴すること法なるべし亦法隆寺は初は貫を以
百石の内を貫とし つて徴す十貫は百石とすべきなり
出れども詳なる所なしこれ十貫は百石とすべきなり
なりとしてこれ亦後輩の辯論なり曰初百貫の辯中
古地方の初めをとるべし百貫を貫とし数百貫
仙基三万の数名なりと云ふ数百貫とは何ぞ
武田系図に初年二万時の下知領知二万七千貫
富東代初百貫三百二万石田五段は一貫とし
なり亦或人曰の人なるべし 古永乗院十文字

四分一ハ四斗八升百文八匁
十八石五斗九升一貫文と
後世のために知れ
すべし　末代に百姓
古法なり仍て如件
寛永四幡多郡中村郷石盛村八幡宮
の古文書あり

於本郷中村
八幡宮新田寄進田之事

一中ノ前田　壹貫
一ハシラ松　壹貫分
一大ボナケ　七百五十分

有馬之内　小任小作　弥五郎
目黒之内　泉ヶ
藏橋分

三ツナ
一、二百五十分
合参貫分歟

永禄二年己未三月吉日

右の文書を按ずるに田一貫とすること
芝浦の文に一貫とすること
て三十三所三段三畝十歩知れ三百三十三石三斗三升三合とす
るに四八無きて中もの断なしん歟とのの赤行録信濃
る日見利の世に深き貫とりしてと
ものを思ひのあて百貫田十万歩
三所三畝十歩なり千貫の深なれば
を領するまり伊庭某雑録に
ことをおり芝とたまへ
なる人のわきとなり

康政　印

五石分

百姓に深きを以て年

貢収納とそれ[illegible]法あり[illegible]多なれいとと[illegible]ほ亦[illegible]
[illegible]小弥三郎甲子黄門[illegible]弟[illegible]嘉山城[illegible]品川[illegible]
[illegible]あたのまてかはすた[illegible]状[illegible]其器文
今度[illegible]河州刻當回乱入之[illegible]別而御入魂[illegible]所知
行[illegible]多度那為原庄鴨[illegible]錢拾三貫文令合力候[illegible]書
[illegible]めたる[illegible]合[illegible]
[illegible]
[illegible]

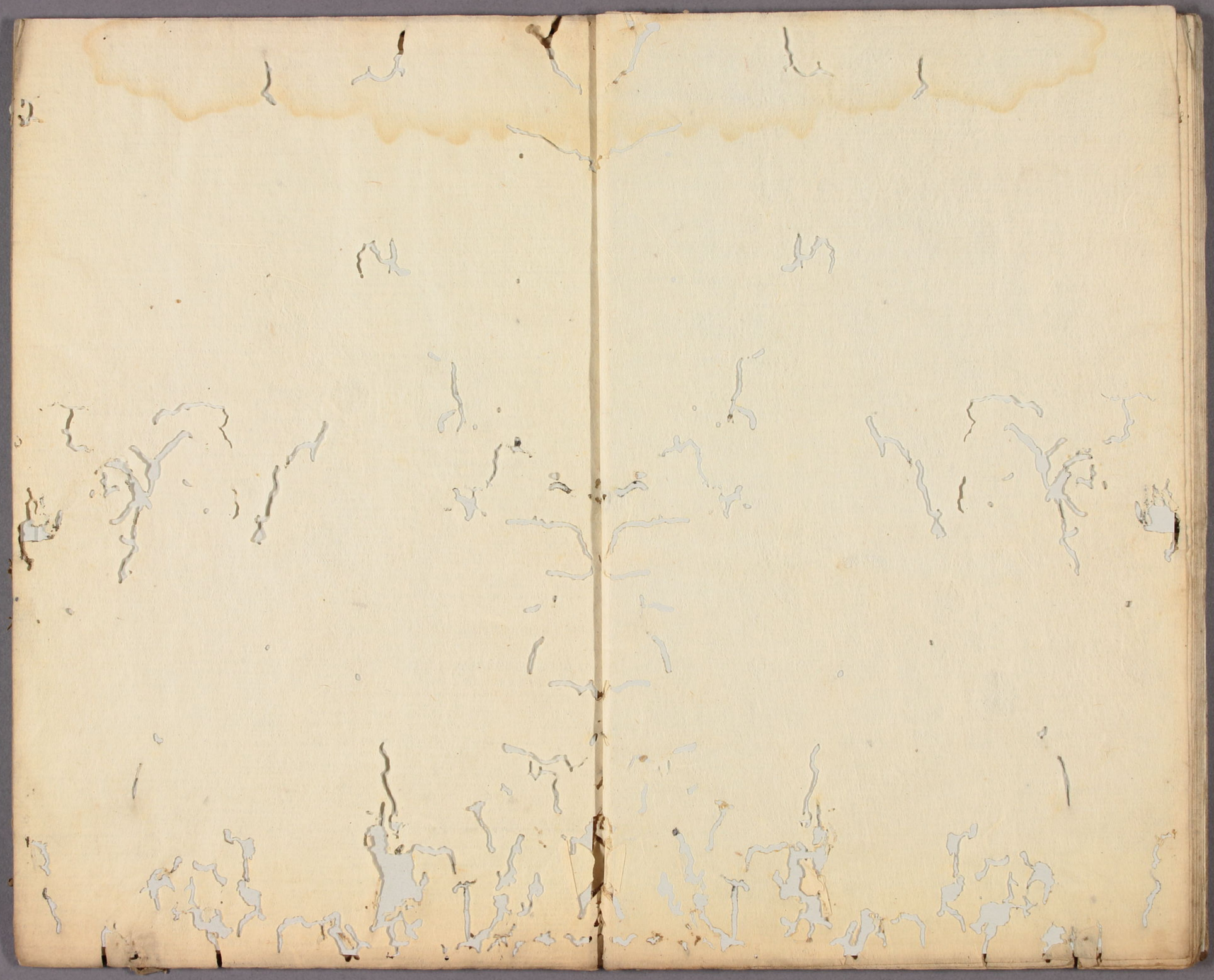
[illegible]の輒改の人如[illegible]のこと[illegible]めなし[illegible]のこと如[illegible]人[illegible]
[illegible]入[illegible]及[illegible]ん[illegible]
[illegible]て新[illegible]
○和事[illegible]感状八[illegible]の[illegible]本の盛個[illegible]を[illegible]
[illegible]東[illegible]三[illegible]普[illegible]渡河水之類未聞以馬渡海[illegible]
例盛個振舞希代之勝事[illegible]感状の[illegible]
八[illegible]不審[illegible]遺[illegible]集[illegible]感状の[illegible]
[illegible]記[illegible]前文[illegible]延[illegible]不[illegible]領[illegible]判[illegible]七[illegible]保[illegible]
[illegible]以[illegible]建久[illegible]中[illegible]軍[illegible]感状[illegible]
建久[illegible]月[illegible]生[illegible]
[illegible]状[illegible]
[illegible]保[illegible]
[illegible]以[illegible]感状[illegible]
[illegible]

即申勲之日更依此書以[illegible]勲状[illegible]市下の[illegible]三所間勲
[illegible]也[illegible]の[illegible]勲状[illegible]感状[illegible]
状[illegible]不當[illegible]
[illegible]河水[illegible]
[illegible]
[illegible]
○重[illegible]編[illegible]仁記[illegible]
[illegible]文字[illegible]
[illegible]
○鉄砲[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

近年印刻軍士大害人系

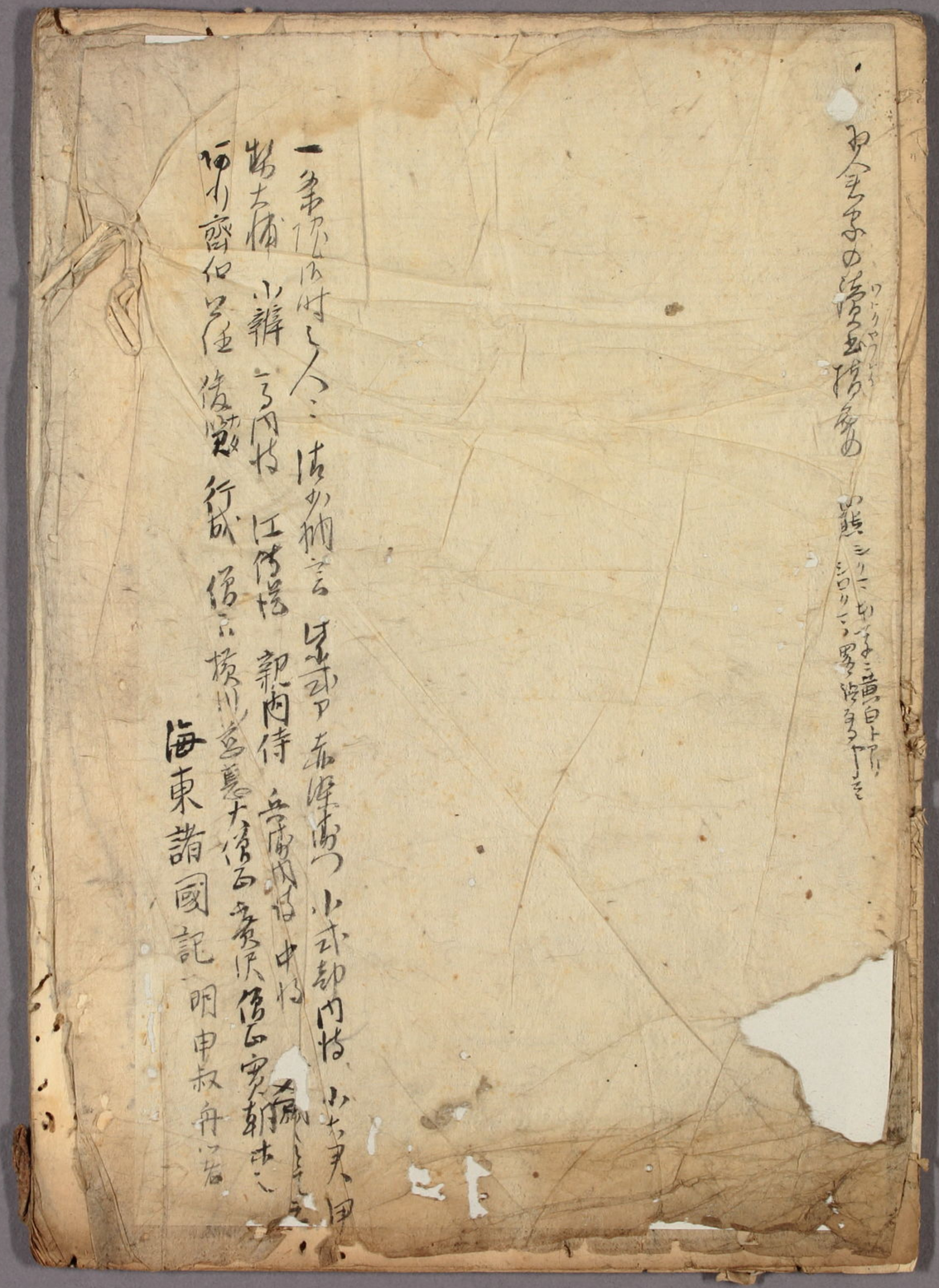
[illegible]
[illegible]
[illegible]

敵二孔崔及鳥統槍刀等甲故孔崔於南陽海島下後
鳥統於軍門寺我國之有鳥統始此と云て
いにしへ姓氏の虛實おぼつかなきこと有りけれども
一云四年詔して高句麗に新撰姓氏錄三十一巻を
序を一千一百八十二所と記せり異國より渡化の姓氏
多なり
○續日本紀二宝龜十年丙寅前學生阿部朝臣仲麻呂
在唐而亡家口偏乞葬礼有勅賜東絶一百匹白綿三百
屯とあり其後續日本後紀に承和三年五月成申使附聘
唐使贈遣往哉衡本朝命入唐使并留学生等在彼身
歿者八人位記以賜出詔其後曰こ故留学生阿倍仲麻呂
朝臣仲滿大唐光翰大夫右散騎常侍兼御史中丞北海郡開
國公潞州大都督朝衡可贈正三品身沒鯨波業成麟角詞
峰聳峻学海揚澜顕位斯榮英声已播如何不惜莫遂言
帰唯有於天之章長傳郁地之響こ



全て紙

以下白



海東諸國記 明申叔舟著